

第28回 温泉関係功労者被表彰者(50音順)

氏名	年齢	役職等	功績概要
アダチ アツコ 足立 昌子	65	兵庫県環境審議会温泉部会委員 神戸薬科大学教授	平成4年から兵庫県環境審議会温泉部会委員として17年以上にわたり兵庫県の温泉の保護及び適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。 また、神戸薬科大学の環境衛生学の講義等において温泉水の効用等について講義を行うなど、温泉の適正利用の普及啓発の推進に貢献した。
イシカワ ミチオ 石川 理夫	62	温泉評論家 日本温泉地域学会副会長 中央環境審議会自然環境部会温泉小委員会専門委員 長野県環境審議会温泉審査部会委員	平成2年より、温泉の調査、評論活動、特に、日本の共同湯である「総湯」の歴史的考察等温泉と人間生活の関係を歴史的な流れの中で広い視野から取り上げ、それをどのように生かすかについて探求している。 また、「温泉法則」、「温泉巡礼」、「日本温泉地域資産」など著書も多く、温泉の保護と適正利用に関する学術研究、普及啓発に大きく貢献している。 さらに、中央環境審議会自然環境部会温泉小委員会委員、環境省の温泉行政の諸課題に関する懇談会や長野県環境審議会温泉審査部会委員等を務めるなど温泉行政の推進にも大きく貢献した。
イシヅカ ミツヨ 石塚 盈代	66	富山県環境審議会温泉専門部会委員 富山短期大学教授	昭和63年から20年以上にわたり、富山県環境審議会温泉専門部会委員として富山県の温泉の保護と適正利用に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。 特に、同専門部会においては公衆衛生に関する豊富な知識を活かし、「富山県温泉法施行規則」や「富山県温泉法施行規則の施行に係る運用指針」の改定等にも尽力したほか、審議の中心的な役割を果たした。
カワノ タミオ 川野 田實夫	65	大分大学教育福祉科学部教授 大分県温泉調査研究会理事 大分県温泉監視調査委員会委員	昭和44年より約40年にわたり大分大学教育福祉科学部に勤務し、分析化学的手法を用いて、温泉成分の経年変化、温泉水中の重金属の分析と河川水などへの影響、二酸化炭素泉中の炭酸物質の挙動と他成分の関係等について調査研究を行い、温泉に関する基礎的な知見の充実に大きく貢献した。 また、昭和56年から28年にわたり大分県温泉調査研究会理事、平成16年から5年にわたり大分県温泉監視調査委員会委員を務め、温泉行政の推進にも大きく貢献した。
クボタ カズオ 久保田 一雄	60	群馬温泉医学研究所所長 日本温泉気候物理医学会理事	昭和61年より23年の永きにわたり、日本温泉気候物理医学会に在籍し、温泉医学の研究、発展に努めた。 特に群馬大学医学部附属病院草津分院では、草津温泉の医学的作用についての研究を行い、アトピー性皮膚炎への有効性について明らかにした。 また、温泉地における入浴事故防止のための安全入浴法を提唱し、講演や執筆活動を行い、その普及を図り、温泉の適正利用の推進に大きく貢献している。
コシジマ ヒサヤ 越島 久弥	71	石川県環境審議会温泉部会部会長代理	平成4年から17年以上にわたり石川県環境審議会温泉部会部会長代理として石川県の温泉の保護と適正利用に尽力し、温泉行政の推進に大きく貢献した。 特に、平成5年の温泉事務取扱要綱の作成や審議会における掘削許可に係る審議において、法律家としての立場から助言・指導を行うなど部会の審議に大いに貢献した。

氏名	年齢	役職等	功績概要
ナガセ カズオ 長瀬 和雄	70	長瀬技術士研究所所長 東京都自然環境保全審議会委員	昭和45年から29年にわたり、神奈川県温泉地学研究所に勤務し、神奈川県内の大深度温泉井の地質試料の解析を行うなど秦野盆地の水収支と地質構造について明らかにした。 平成9年から2年間は、同研究所所長として神奈川県温泉審議会の運営に携わり、また、平成15年から「東京都市街地の大深度温泉掘削及び地盤沈下に関する研究会」委員として温泉資源の保護に関する研究の進展に貢献するとともに、東京都自然環境保全審議会委員を務め、温泉行政の推進にも貢献した。
マエダ マサハル 前田 眞治	54	国際医療福祉大学大学院リハビリテーション学分野教授 日本温泉気候物理医学会理事	昭和54年より30年の永きにわたり、日本温泉気候物理医学会に在籍し、温泉医学に関する学術的業務に従事し、温泉の保護と適正利用に関する普及啓発、学術研究に尽力した。 特に、平成17年より環境省の温泉利用に関する揭示内容等についての医学的検討調査の委員長として調査研究に携わり、温泉の適正利用の推進に大きく貢献した。 さらに、環境省の温泉行政の諸課題に関する懇談会委員を務めるなど、温泉行政の推進にも大きく貢献した。
ミヤザキ キンイチ 宮崎 謹一	69	(社)日本温泉協会常務理事 群馬県自然環境保全審議会温泉部会委員 (有)草津ハイランドホテル代表取締役	(社)日本温泉協会において、平成5年から16年にわたり理事、常務理事として、温泉資源の保護と適正利用に関する広報普及活動の推進に努めるとともに、草津町議会議長、(社)草津温泉観光協会会長、(財)群馬県観光国際協会理事長などの要職を歴任するなか、地域の貴重な資源である温泉の保護に尽力した。 また、平成7年から13年以上にわたり群馬県自然環境保全審議会温泉部会委員を務め、群馬県の温泉の保護及び適正利用の推進に尽力し、温泉行政の推進にも大きく貢献した。
リュウジン キヨシ 龍神 潔	81	和歌山県温泉協会副会長 龍神温泉下御殿経営	昭和57年から14年の永きにわたり、龍神温泉協会会長及び(社)龍神観光協会理事を務め、龍神温泉郷の国民保養温泉地指定(環境庁長官(当時)指定)に向け環境整備に尽力するなど龍神温泉における温泉の保護と適正利用の普及啓発に尽力した。 さらに、平成2年の和歌山県温泉協会の設立と同時に同協会の副会長に就任し、以来18年の永きにわたり、同協会副会長として、和歌山県内の温泉の保護、可燃性天然ガスによる災害の防止及び適正利用の普及啓発に尽力した。